令和6年度 脱炭素事業に関する村民説明会【古坂地区】開催要旨

日 時	令和6年7月29日(月) 午後2時00分～午後3時10分
	(第1部 村政懇談会：午後2時00分～2時30分) (第2部 脱炭素事業：午後2時30分～3時10分)
場 所	古坂介護拠点施設
参加者	7名(村民6名、議員1名)

(第2部 脱炭素事業：午後2時30分～3時10分)

【質問者】

屋根に太陽光パネルを置く場所がない場合はどうなるのでしょうか。

【平林建設】

パネル設置の調査を行っている平林建設です。先週から調査結果をお知らせしているところですが、屋根に設置できない場合は、宅地のほかの場所や周辺も調査してなるべくどこかに設置できるよう対応したいと思います。

【質問者】

スギ花粉が多いのですが、パネルに落ちるとどうなるのでしょうか。伐るにしても大きくなりすぎて困っています。

【平林建設】

パネルに落ちた花粉は掃いていただいた方が良いのですが、高いところなので難しいこともあると思います。本来はそのような木は伐っていただき、支障がないようにしていただきたいです。また調査をさせていただき検討いたします。

【質問者】

『龍と子』7月号に掲載されているLEDの交換について、例として工事費込み120万円と記載されていますが、一体どういう設備がこんな金額になるのか詳細はどのようになっているのでしょうか。

【村づくり推進室長】

『龍と子』に掲載した金額の120万円というのは、あくまで一つの目安です。実際にかかる金額は、各ご家庭の照明器具の設置状況にもよります。『龍と子』4月号に補助金の

申請に関する詳細はまとめてあり、業者さんの一覧も掲載されていますので、実際の金額は業者さんにご相談いただければと思います。

【村長】

高効率照明機器つまりLED照明に関しては、一つ10万円以上するものもあるので、値段はピンキリです。そのため、家の照明を全て交換すると照明器具の種類や数によっては120万円程度かかる場合もあります。そういうことで例はこういう例ですけど、3分の1の自己負担で、導入更新できるということです。

【質問者】

バイオマスについて、以前議員さんたちが見学に行かれたときに、採算が合わないのではないかという意見があったと思うのですが、前に進めるというのは何か新しい知見があったのでしょうか。また、奈良県の生駒市でいくさかてらすと同様の事業をしているようですが、結局採算が合わずに役所の職員が関わることになっているようです。

【村長】

木質バイオマスストーブについては、導入していただければCO2排出削減につながるものであって、ペレット工場や森林整備とは別問題です。購入補助は、個人の皆さんは4分の1の自己負担で買え、それで冬場は暖を取っていただければCO2排出削減につながるというものです。他に、村の脱炭素先行地域づくり事業として森林整備やペレットストーブ導入やペレット工場を考えています。これらに関しては調査検討中ですので、どのようにやっていくかはこれから具体的にお示しできればと思います。新エネルギー会社の件ですが、成功している会社もあればそうでない会社もあります。いくさかてらすとしては、事業を成功させるためにも村民の皆様になるべく契約していただきたいところです。そして停電の際は蓄電池から電気を使っただき、災害時にもそうしていただきたいと思っています。

【質問者】

この公民館にエアコンがないので、設置していただくのは難しいでしょうか。

【村づくり推進室長】

省エネ機器の導入補助金については、機器の導入によってCO2の排出削減が果たされることが前提となっており、新設の場合は設置した時点で増えてしまうことから、条件に該当しないことになってしまいます。環境省にも相談しているところですが、今のところ要綱上はCO2削減になる機器への付け替えが前提となっています。他の区からも同様の要望をいただいているため、国と調整を引き続き検討していきます。

【質問者】

他の地区で問題として挙げたことなどを報告していただけたらありがたいです。

【村づくり推進室長】

村政懇談会でのご意見については、10地区を前半と後半に分けて8月号と9月号の広報に載せるよう準備をしております。

【質問者】

PPAプランと小売プランで蓄電池の容量が違うようですが、契約の途中で蓄電池の容量を変えることはできるのでしょうか。

【村長】

途中での変更は難しいというのが回答になります。どうしても年齢的にPPAの17年プランや10年プランに入れられない方や、太陽光パネルが設置できないお宅に住まれている方もいますので、小売りの10年プランとシンプルプランをご提示しております。ただし、公平性を考えると高齢者のご家庭に不利な契約となってしまうため、そのような方にはポイントを付与したり、マル得商品券で支払いができたりするなどの対応をできればと思います。容量についてですが、蓄電池のみの小売プランでは7.4kWh、PPAプランの場合は16.6kWhを設置予定です。16.6kWhは家庭用としては大きめでして、使い方にもよりますが1日は持つはずですが、またこれは最初の提示ですので、運営していくにつれ色々な意見が出てくると思います。事業自体が初めてのものですので、他の先進事例も加味しながらその都度取締役会等で課題を解決しつつ、皆さまからのご理解をお願いしたいと思います。

【質問者】

契約先が変わっても、引き続き保安検査などは中部電力でやるのでしょうか。

【エコロミ】

契約すると、電力を買う会社が中部電力ミライズからいくさかてらすに変わりますが、電線はこれまで通り中部電力パワーグリッドのものを使いますので、物理的な電気の流れは今までと変わりません。したがって保安やブレーカーの交換などについては、中部電力パワーグリッドの元に保安協会さんが来るなどして対応することになります。流れとしては今まで通りということになります。

【質問者】

自宅で太陽集熱器を利用しているのですが、太陽光と蓄電池を設置した際はエコキュートに交換したほうがいいのでしょうか。

【エコロミ】

蓄電池の設置と省エネ機器の導入の一環としてエコキュートを設置するのは、別物と考えていただけたらと思います。省エネ機器への交換については、4月から募集している村の補助金を使って交換いただければと思います。蓄電池はいくさかてらすの事業として設置するものですので、太陽集熱器があるならそれはそのまま使っていただいても構いません。もちろん、太陽光発電と蓄電池の導入を機に、古くなった太陽集熱器を入れ替えようとか、今の給湯器をエコキュートに変えていただくとかも良いと思います。指定業者さんにご相談のうえ検討いただければと思います。